

⚠ 安全のために

火災等の事故や故障の原因となりますので、本説明書に示した注意事項を必ずお守りください。

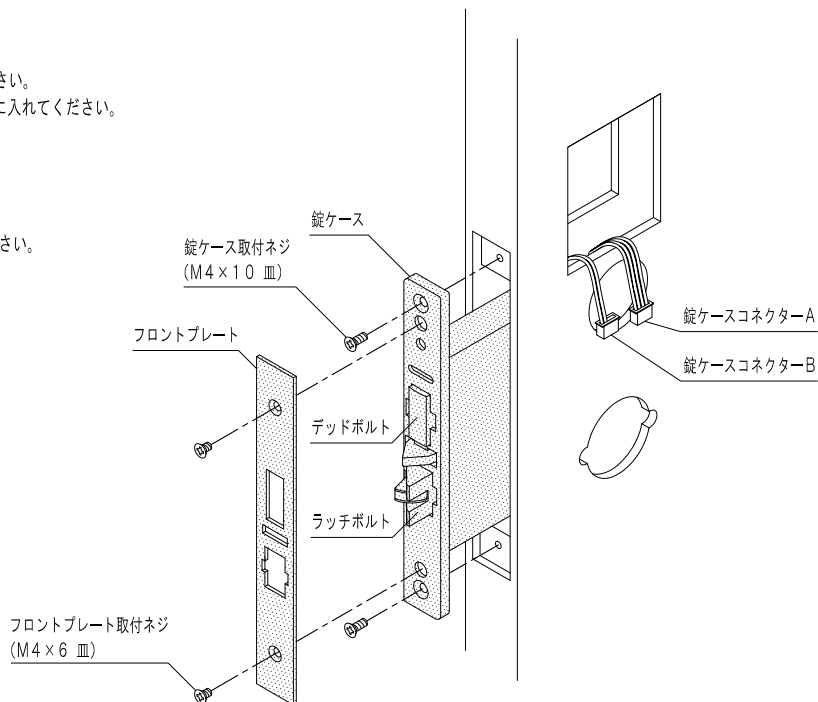
- 高温 (40℃以上) になる場所に設置、放置しないでください。故障の原因となります。
- 電動ドライバーは使用しないでください。ネジの締めすぎによって破損する場合があります。締付トルクは0.7~1.5Nmを目安としてください。
- 製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 水等の液体をかけたり、濡れた手で触らないでください。故障の原因となります。
- 製品の分解・改造はしないでください。機器の損傷、火災の原因となる事があります。
- 本体へ薬品等をかけないでください。
- 配線が扉やエスカチオン等の部品に挟まれていないことを確認してください。
- コネクターが確実に接続されていることを確認してください。
- 本図は内開き左勝手を示しています。

※取り付け完了後、「作動チェックシート」に従い、正常に作動している事を必ず確認してください。

① 錠ケースの取り付け

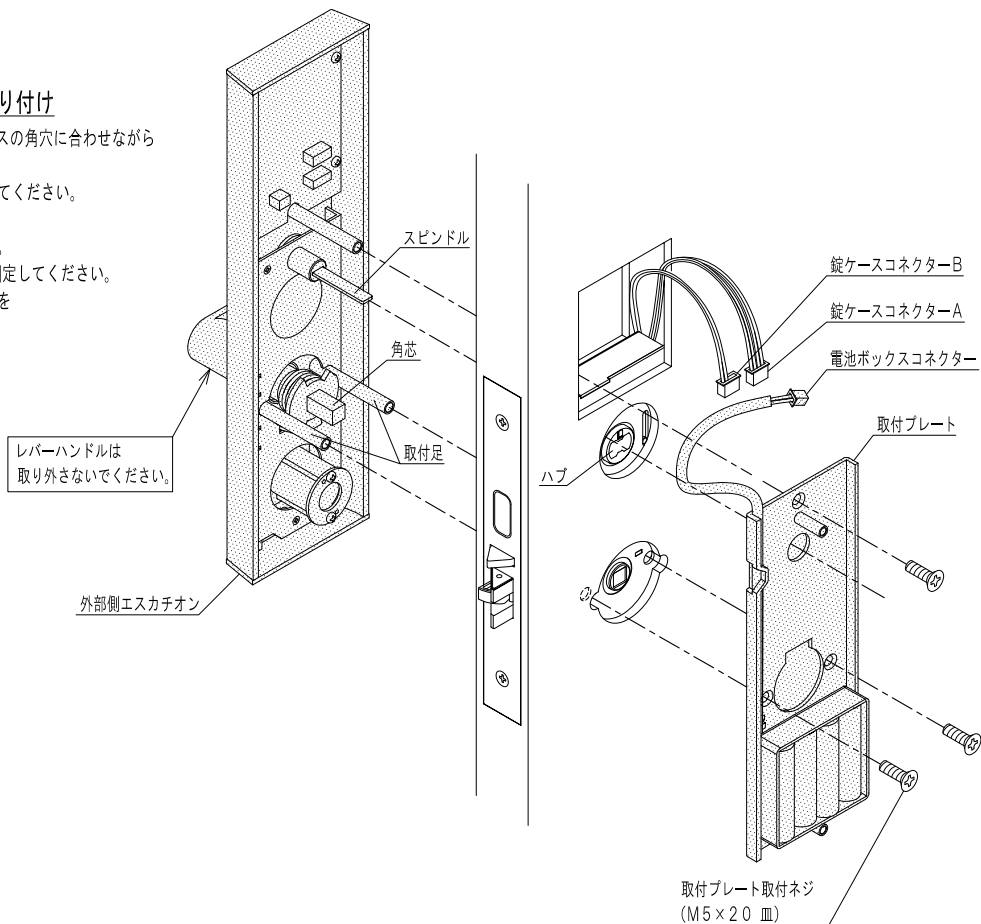
- 錠ケースを取り付ける前に錠ケースが解錠状態であることを確認してください。
施錠状態 (デッドボルトが突出している状態) の場合は、解錠状態にしてください。
- (1) 扉の開き方向・左右勝手、ラッチボルトの向きを確認後、錠ケースを切欠に入れてください。
※錠ケースには左右勝手があります。
※錠ケースコネクターA、Bは四角の切欠穴より室内側へ出してください。
 - (2) 錠ケースを錠ケース取付ネジ (2本) にて取り付けてください。
※取り付けの際、錠ケースの配線を挟み込まないように注意してください。
 - (3) フロントプレートを取付ネジ (2本) にて取り付けてください。

		左右勝手によるラッチの向き	
		左勝手	右勝手
外開き	ラッチボルト		
		室外側 室内側	室内側 室外側
内開き		室外側 室内側	室外側 室内側
	ラッチボルト		



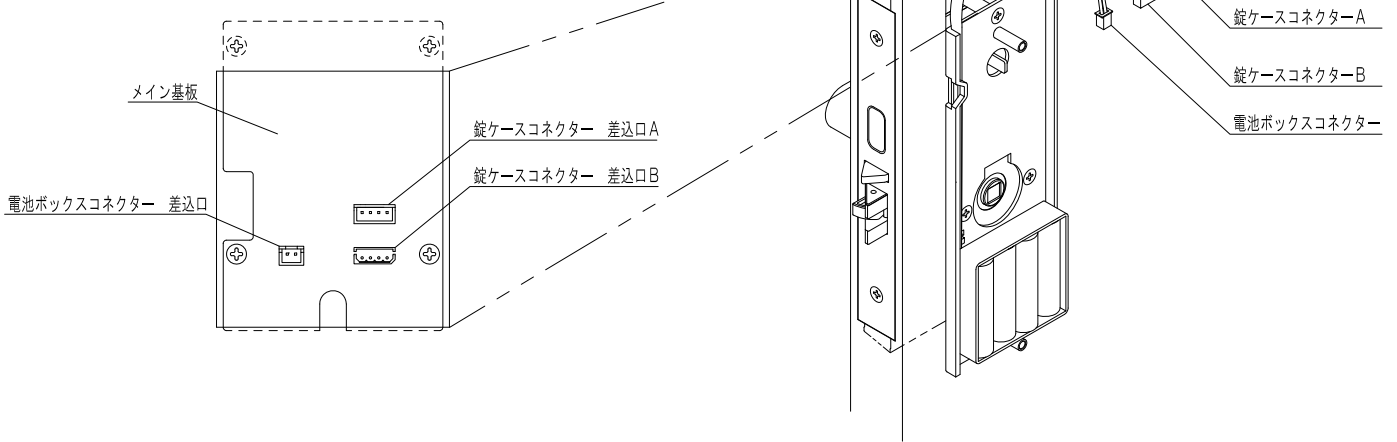
② 外部側エスカチオン、取付プレートの取り付け

- (1) 取付足を扉の切欠に合わせ、レバー角芯を錠ケースの角穴に合わせながら外部側エスカチオンをはめ込んでください。
※必ずキーはシリンダーから抜いた状態で取り付けてください。
※スピンドルを水平にして取り付けてください。
※レバーハンドルを水平にして取り付けてください。
- (2) 取付プレートを取付プレート取付ネジ (3本) で固定してください。
※取り付けの際、錠ケース及び電池ボックスの配線を挟み込まないように注意してください。
※外部側エスカチオンの脱落に注意してください。



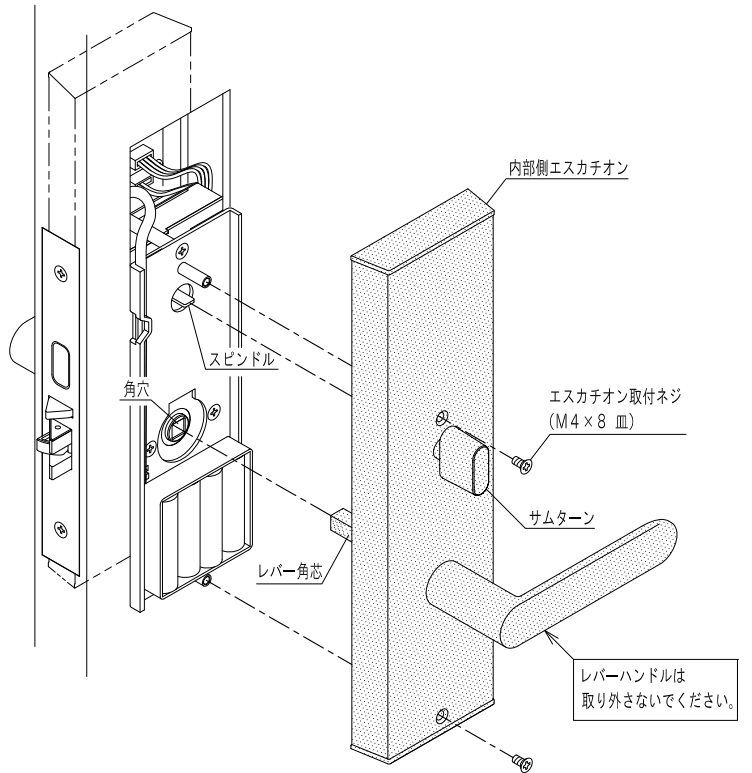
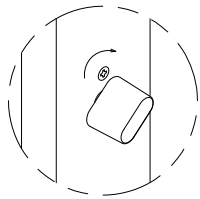
③ コネクターの接続

取付プレートの電池ボックスコネクタと電気錠の錠ケースコネクタA、Bを外部側エスカチオンの基板に接続してください。
※コネクタが確実に接続されていることを確認してください。



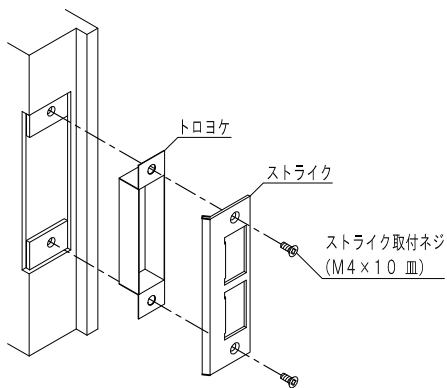
④ 内部側エスカチオンの取り付け

- (1) レバー角芯を錠ケースの角穴に合わせながら、内部側エスカチオンをはめ込んでください。
※サムターンを垂直にして取り付けてください。
※取り付けの際、基板に接続された配線を挟み込まないように注意してください。
- (2) サムターンを約45°回して、内部側エスカチオンをエスカチオン取付ネジ(2本)で固定してください。
※サムターンを回した際、デッドボルトが動作し、施錠されます。



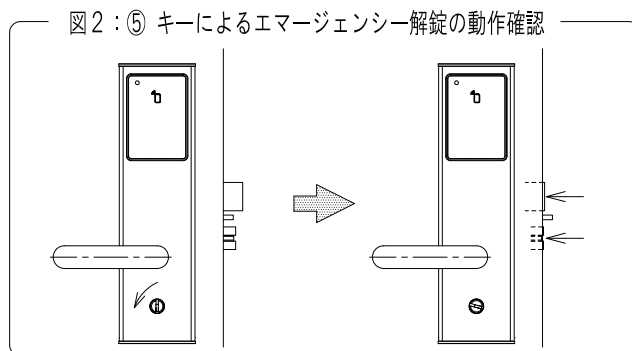
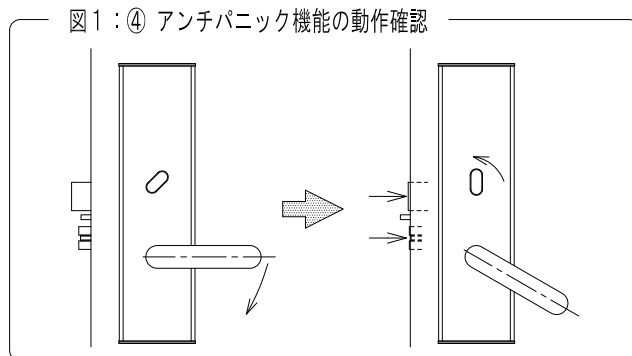
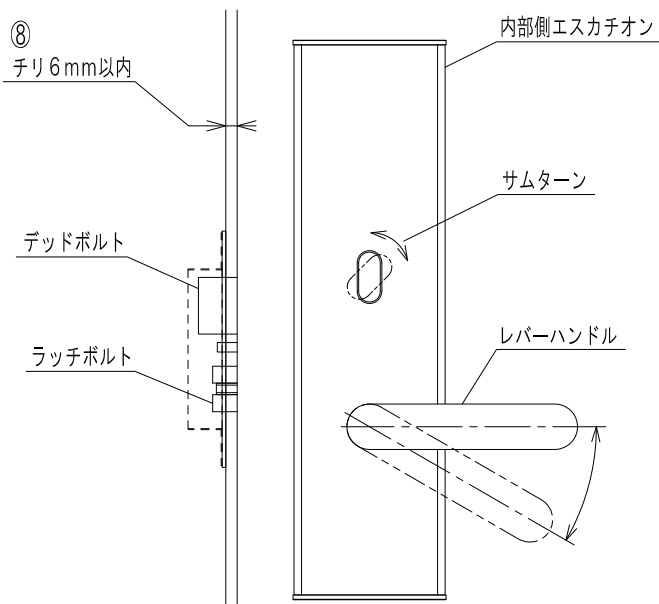
⑤ ストライクの取り付け

ストライク及びトロヨケをストライク取付ネジ(2本)にて枠に取り付けてください。



取り付け完了後、本作動チェックシートに従い、正常に作動している事を必ず確認してください。

① 各部の名称、および機能説明



② 作動チェック内容

部屋番号	
------	--

状況	チェック項目	結果 (✓)
機能チェック (扉を開けた状態)	① 室内外のレバーハンドル操作でラッチボルトが引き込む。 ※ 室外のレバーハンドル操作にロックが掛かっている場合 → (注1)	
	② 室内外のレバーハンドル操作後、レバーが水平位置に戻る。	
	③ サムターン操作でデッドボルトが正常に作動する。	
	④ アンチパニック機能が正常に作動する (図1参照)。 サムターンでデッドボルトを施錠した状態から、 室内のレバーハンドル操作でデッドボルトとラッチボルトが引き込む。	
	⑤ キーによるエマージェンシー解錠が正常に作動する (図2参照)。 サムターンでデッドボルトを施錠した状態から、 キー操作でデッドボルトとラッチボルトが引き込む。	
建付けチェック	⑥ 扉がドアクローザーにて確実に閉まる。 ※ 閉扉後に外部から扉を押すだけで扉が開く場合 → (注2) ※ 室外側のレバーハンドルを引っ張った時に 「カチッ」というラッチボルトが動く音がする場合 → (注2)	
	⑦ サムターン操作で、デッドボルトがストライクの開口穴と干渉していない。	
	⑧ チリ寸法が6mm以内である。	

(注1) 納入時、錠前は工事用として解錠保持状態になっています。施錠になっている場合、保護シールをはがして白色の工事用フリーカード (CNMKF) をかざし、解錠保持状態にしてください。

(注2) ドアクローザーの調整を行ってください。

お願い

工事期間中は、養生シート等により人感センサーが作動して、電池が異常消耗する事を防ぐために、カードをかざす場所に貼ってある保護シールを外さないようお願い致します。